

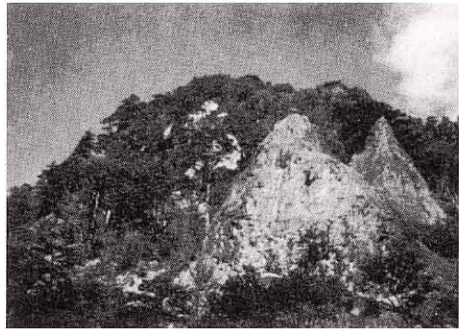
### ③ 伝説と民話

大信村の<sup>でんせつ</sup>伝説や<sup>みんわ</sup>民話は、むかしの人が美しい<sup>うつく</sup>自然<sup>しぜん</sup>の中でたくましく生活<sup>せいかつ</sup>したようすをあらわしたものが多く、大信村には30あまりの<sup>みんわ</sup>民話が残っています。

#### ひじり 聖ヶ岩 (伝説)

##### ●その一

康平年間、<sup>みなもとの</sup>源 義家<sup>よしいえ</sup>が奥州征伐の<sup>おうしゅうせいばつ</sup>時、<sup>ごんたぐら</sup>権太倉の山の中に休みました。そのとき、馬をひいていた人があわてていて、<sup>よしいえ</sup>義家の<sup>の</sup>乗り<sup>くら</sup>鞍を忘れてしまいました。その<sup>くら</sup>鞍が石にばけてしまったと伝えられています。そして、「<sup>こと</sup>言の<sup>は</sup>葉



の<sup>かた</sup>固く伝えし石もなく名のみなりけり<sup>ごんたぐらやま</sup>権太倉山」という歌が残されていますが、<sup>さくしゃ</sup>作者は不明です。・<sup>こうへい</sup>康平年間 (1058年～1064年)

##### ●その二

1174年 (<sup>しょうあん</sup>承安4年)、<sup>みなもとの</sup>源 義経<sup>よしつね</sup>が奥州平泉にくだるとき、この岩に休み、この山の美しさに心をうたれ、<sup>ひじり</sup>聖ヶ岩<sup>いわ</sup>と名付け、<sup>なづ</sup>不動尊<sup>ふどうそん</sup>を安置<sup>あん</sup>したと伝えられ、また<sup>きょうどし</sup>郷土史には、<sup>だいにちによらい</sup>大日如来がまつられてあったと<sup>きろく</sup>記録されています。